



西本さん 横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴7年と16年)が行く

未来へつなぐ大切な祭

コロナ禍で祭りの中止が相次ぎますが、祭りに込められた意義や思いは途切れることなく受け継いでいきたい! 市民ママライターが、市内の祭り関係者を直撃取材していきます。

第6回

ぬたじんじや
沼田神社 湯立て祭

開催時期…3月の第1日曜日

特徴…風水火の意味がある釜で沸かした湯を奉納し、無病息災を祈る行事

湯を奉納し1年間の健康を祈る



3月始め、「タン、タン、タン」と静かに太鼓の音が鳴り続ける中、湯立て祭は行われます。この祭りは、地元で「祇園さん」と呼ばれて親しまれる沼田神社の行事。風・水・火の意味がある三つの釜で沸かした湯を、ひしゃくで笹の葉に付け、参拝者に振り掛けます。湯のしぶきを浴びると無病息災に過ごせるとされ、釜の湯を持ち帰って飲むと、1年は風邪をひかないと言われています。

継承したい地域の祭り

祭りの準備は、地元の氏子を中心となり行います。当日はカメラを持って市外から見学に来る人もいます。祭りが終わると釜の湯でお茶をたてて飲む人や、ポットに湯を入れて持ち帰る人など、にぎわいます。子どもたちも参加しやすいよう、お菓子や抹茶のふるまひもあり、これからも継承していきたい祭りです。



コロナ禍に見舞われているこんなときだからこそ開催したかったです。

※令和4年は中止。

むねのぶ まさと
氏子総代表 宗正登さん

「三原市公式note」
で記事掲載中!



Hella!
MIHARA

三原市初!ハワイ出身の
国際交流員コラム

Vol.6



国際交流員
横川あいさん

Aloha classで知られざるハワイ文化を紹介

市の職員にハワイの文化などを紹介する講座「Aloha Class」を英語で行いました。講座では、ハワイに関するクイズや日本との関係についてお話をしました。

ハワイには多様な人種や民族が共生していますが、中でも日本人の割合も多く、日本特有の文化がハワイにも根付いています。夏には盆踊りをしたり、お正月にはお雑煮を食べたり、子どもたちにお年玉を渡したりもします。その他にも子どもの日やひな祭りなども祝います。このような、まだ知られていないハワイの魅力を、市民の皆さんにも紹介する機会を作っていきたいです。



「Aloha class」の様子

●外国人相談窓口(市役所本庁4階)
問経営企画課(TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)

第6回

市長
セイリング
Sailing



「卒業・卒業、誠におめでとうございます!」

この時期になると、「アロハ sailing」(私は航海にでる)の歌詞で始まる「セイリング」という曲を思い出します。

1975年にロッド・スチュワートという歌手がカバーして、全英1位を獲得したヒット曲です。

この曲を知ったのは、私の中学校の卒業式が近づいていた頃のことです。英語の先生が、授業で英語の歌詞を印刷して配布してくださり、曲を聴かせてくれました。

そのとき、卒業を航海への船出にたとえ、「人生という航海を思いっきり楽しみなさい」という言葉を贈っていただいたことをよく覚えています。

航海に出ると、晴天の日もあれば、荒波の日もありますが、新たに旅立つ皆さんの晴れやかな出航を心から応援しています!

ご卒業・ご卒業、誠におめでとうございます。

